

東京日影図バージョン5の概要

- 東京都縮尺2,500分の1ベクター地形図の全都版ブラウザです。(東京23区、北多摩、南多摩、西多摩)
- 図郭跨りもズームレスに、A4からB0まで、任意の縮尺で、正確な白地図・加工地図が印刷できます。(市販の2,500分の1白地図と同様の地図が印刷できます)印刷時に「自由な凡例」が作成でき、出力位置も設定できます。
- DMの全レイヤ、全項目をオン/オフ表示・印刷できます。レイヤは行政区、建物及び付属物、等高線・地形等12レイヤ、195項目です。
- DMの建物は弊社で再構成しております。
- 地図は任意の縮尺で表示でき、最大拡大、最小縮小の設定もできます。最小縮小は「制限なし」に設定することもできます。
- 地図は回転方向の指定や、回転角度を指定して回転させることができます。回転した地図上でも、拡大、縮小、八方向移動といった図面操作や、距離計測、面積計測、角度計測等が自由に行えます。
- DMの項目の図上検索ができ、個々のデータ毎に削除、復活ができます。
- DMの線・面データの指定された辺の、真北からの角度を計測することができます。また、マウスで指定した2点の、真北からの角度を計測することもできます。指示したDM線(建物も含みます)の範囲を図上表示することもできます。
- ユーザマップ機能により家屋や園形、線データ、注記、注記の囲み記号、シンボルが自由に入力でき、多目的地図が容易に作成できます。ユーザマップはカテゴリ化でき、カテゴリは最大2000種まで設定できます。それぞれのカテゴリ毎に個別に表示したり、全てを同時に表示したりできます。カテゴリ化されたユーザマップは、属性データベースと連動して高度なGISが構築できます。
- 表示画面を切り出してクリップボードからのソフトで利用できます。また、拡張メタファイル(EMF)が直接作れ、ワードやエクセルで縮尺指定の高解像度の地図が利用できます。また、地図データがEPSファイル出力でき、デザインやCADに活用できます。EMFやEPSファイルは画面が回転した状態でも、回転後の座標で作成できます。
- 日影図関連機能は日影図、日影分布予想図、線線図より成ります。日影図は、時刻変化図、高低変化図、時刻・高度指定日影図が作成できます。日影分布予想図は対象建物に対して既存の周辺建物群と主建物群が、年間を通してどのように日影を及ぼすかの予想分布図です。線線図は二つあり、敷地線線図は敷地形状に対して高さH/2Hの線線図を表示するものです。建物線線図は建物に対して高さHの線線図を表示します。

バージョン3からの機能拡張(右側)も併せてご覧ください。

地形データをDXF変換して使用する場合は、別にアドオンソフトが必要ですが、アドオンソフトで変換されたDXFファイルは、画面が回転した状態でも、回転後の座標で作成できます。DXF変換では回転した状態の時、注記は回転に連動して変換することも、一定方向(横)で変換することもできます。グリッドやユーザデータも変換できます。

ミーエス株式会社

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿2丁目14番19号  
Tel: 03-3446-8456 Fax: 03-3446-8073  
E-mail: ami@mues.co.jp  
URL: http://www.mues.co.jp

バージョン3からの機能拡張および主な変更点

- 地形図データが世界測地系となり、図郭跨りも世界測地系に従って、東京都の新しいDM地形図に準拠しております。これにより、東京都の最新のDM地形図を購入(東京デジタルマップ株式会社販売)すれば、図郭毎に最新の状態で置換・維持することができます。
- 地形図データの取得年はバージョン3と同じです。測地系が変わり、図郭跨りも変わっていますが、地形図データそのものが新しくなった訳ではありません。
- レイヤのユーザ表示機能: DMの全項目について表示の色や線種、線号(線の太さ)を個別に変更できます。線号は実線の時のみ有効です。
- DMの項目の重複検索や重複削除が可能です。また、地図データを連続削除することもできます。
- 図郭指定で1つ1つの図郭が表示でき、白地図と同一範囲の図郭の地図が印刷できます。
- 表示したいレイヤを予め設定して、99個の「ユーザ設定レイヤ」機能を追加できます。
- 国道、都道、高速道路等の道路面レイヤ(23区分)、全域図での道路線レイヤ(23区分)が付加(弊社でDMデータより作成)されていて、表示のオンオフや印刷・地図データ変換もできます。
- 地図上にグリッドを表示できます。グリッドは基準位置の横座標、縦座標とグリッド間隔(横、縦別々に指定できます)で指定します。グリッドが表示されている状態で地図データ変換(EMFやEPS等)を行った場合、グリッドも一緒に変換でき、とても便利です。
- しおり機能により簡易のデータベースシステムが構築できます。しおりの検索はグループ毎に一覧リストから選択でき、操作が容易です。
- ユーザマップが簡単な操作でカテゴリ化できるようになりました。属性データベースは自動的に構築でき、「データベース台帳呼出し」の機能で自由に編集できます。また、予め外部で属性データベースを作成しておき設定することもできます。属性からのキー検索によりマップが検索でき、属性と対応付けられたマップは属性表示が可能です。この時、「非定型」つまり項目の並び順にフィールド表示を行った、「定型」つまり、きちんとした表示フォームで表示したりできます。
- 日影図関連機能は日影図、日影分布予想図、線線図の3つの独立した機能に分離し、操作が簡便になりました。
- 色相と色番号の対応付けにより、色設定が簡便になりました。
- レゾーム機能により、前図終了状態から操作を開始できるようにしました。

【動作環境】

OS : Windows98, Me, NT, 2000, Xp, Vista, 7  
CPU : Pentium300MHz以上を推奨  
メモリ : 64MB以上を推奨  
ハードディスク : 1.6GBを要します  
ディスプレイ : 1024×768ドット以上、256色以上を推奨  
(インストールにDVDドライブが必要です)

- ・Windowsは米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- ・PentiumはIntel社の登録商標です。



ISBN4-944211-03-1

C2825 ¥22858E

価格:  
~~23,998円~~(税込)  
24687円



ミーエス株式会社

全都版 1:2500  
東京都デジタルマッピング地形図

# 東京日影図

バージョン 5

この地図は東京都知事の承認を受けて、  
東京都縮尺2,500分の1地形図を使用して作成したものである。  
(承認番号) 11都市施交第212号

DMデータ取得年

東京23区:平成9・10年  
北多摩:平成10年  
南多摩:平成11年  
西多摩:平成12年

東京都の最新のDM地図を購入すれば最新状態に置換・維持できます。

【東京日影図バージョン5】は、「東京都縮尺2,500分の1地形図(DM)」の地形の正確さ、建物データの位置の正確さ、形状の正しさを、皆様に最大限利用して戴けるよう作成されたものです。季節毎の太陽の黄道、東京地域での太陽の方向、高度の時間変化より、目標地域に対して周辺の複数の建物が及ぼす「日影図」を求めることを主題としていますが、ブラウザ機能と正確な縮尺の印刷、地図データの加工、更にはユーザの皆様がオリジナルなGISを、なかば自動的に構築できることに主眼を置いた、「超」GISプログラムです。地形図データ

はDMのみならずユーザデータも含めて、クリップボードや拡張メタファイル(EMF)、EPSファイルで出力でき、デザインやCADに活用できます。

【東京日影図バージョン5】で使用されているDM地形図は「東京23区が平成9・10年、北多摩が平成10年、南多摩が平成11年、西多摩が平成12年」に取得されたものですが、世界測地系の図郭跨り再構成され、東京都の最新のDM地形図を購入(東京デジタルマップ株式会社が販売)すれば、図郭毎に最新の状態で置換・維持することができます。

\*地理情報システムの骨格となる「線データから面データを構成する」アルゴリズムを核として、図郭跨りの処理、領域分割面の分割・統合に関して、弊社では独自の方法論を編み出し特許を取得しております。(特許第3340816号)

MUES  
ミーエス株式会社